

●大潟・柿崎市街地拡大図



※道路：実線は現状
点線は計画・構想

2 拠点の方針

○各地区の拠点の機能に応じ、「暮らしを支える拠点」の構築を目指します。

暮らしを支える都市機能*が集積したまとまりのある拠点の形成を図ります。

都市拠点



地域拠点



生活拠点



ゲートウェイ



(1) 都市拠点

《基本的な考え方》

- 交通の利便性が高く、多様な都市機能*が集積するエリアで、上越市の都市活動の中心となっている直江津駅周辺、春日山駅周辺、高田駅周辺を『都市拠点』として位置づけます。
- 都市的ライフスタイルを可能とする居住環境と上越市の経済発展の原動力となる都市機能*の集積を図るとともに、市内外からの交通アクセス性を高め、多様な人々が集まり、交流や連携が生まれるにぎわいのある拠点を目指します。

◆直江津駅周辺

方針

- ・市民生活の利便性を高め、鉄道沿線地域の拠点となるまちを目指します。
- ・既存の都市機能*に加え、商業、交流機能などの立地を促進します。
- ・歴史を感じさせるまちなみや日本海を一望できる景観などの個性的な資源を活用するとともに、近隣にある直江津港の存在を踏まえ、新水族博物館の建設など市内外からの交流を促進する機能の充実を図ります。
- ・生活の利便性や回遊性を向上させるため、既存の都市機能*の維持・更新やまちなかへの機能配置を誘導します。
- ・他分野との連携により空き店舗の利用促進や地域活動の支援などのソフト*政策を展開し、商業活性化や居住環境の向上を促進します。

《拠点のイメージ》

- 信越本線、妙高はねうまライン、日本海ひすいライン、ほくほく線が直江津駅で結節し、新幹線開業後も新潟や長野、関東、北陸方面を結ぶ鉄道の結節点としての機能を果たす
- 古くから交通の要衝として栄え、上越市を訪れる人々の玄関口であり、周囲にはホテルや飲食店、図書館など、都市機能*が集積する
- 歴史を感じさせるまちなみや日本海を一望できる景観などの地域資源を有する
- 水族博物館の建て替えが予定され、市内外との交流拡大が期待される



直江津学びの交流館
(直江津周辺地域)



水族博物館
(直江津周辺地域)



直江津駅周辺の中高層マンション
(直江津周辺地域)



独立行政法人労働者健康福祉機構
新潟労災病院(直江津周辺地域)

◆春日山駅周辺

方針

- ・行政、文化・スポーツなどの行政機能の集積を推進するとともに、上杉謙信ゆかりの春日山への玄関口であることをいかし、文化・交流の拠点となるまちを目指します。
- ・暮らしやすい居住環境の維持・形成に取り組みます。

《拠点のイメージ》

- 高田、直江津の中間に位置する
- 市役所や文化会館、総合体育館などの都市機能*が集積する
- 隣接地には、総合病院や警察署、科学館、観光物産センター、リージョンプラザなどの都市機能*が立地する
- 幹線道路沿線には、スーパーや薬局、飲食店などの商業施設や業務施設が立地している



上越市役所(春日山周辺地域)



春日山駅周辺の中高層マンション(春日山周辺地域)



新潟県厚生農業協同組合連合会
上越総合病院(春日山周辺地域)



春日山(春日山周辺地域)

◆高田駅周辺

方針

- ・既に集積している都市機能*やまちの歴史的価値をさらに高める観点から必要な都市機能*の集積や歴史的まちなみの保存・活用を促進します。
- ・歴史文化などの地域資源を活用しまちなかの回遊性の向上、空き店舗などの既存ストック*の活用などにより賑わいの向上を図ります。
- ・定住を促進するため、狭隘道路*の拡幅や市街地再整備による住宅地整備を検討し、居住環境の向上を促進します。

《拠点のイメージ》

- 日本一の長さを誇る雁木や高田城の跡に造られた高田公園、城下町の風景を残す町家、60余りの寺が連なる寺院群など、歴史的・文化的資源が多く、上越市の商業・文化の中心
- 医院・診療所や介護老人福祉施設、裁判所、税務署、ビジネスホテルなどの都市機能*が集積する
- 高層マンションや共同住宅なども多く、冬期でも歩いて暮らせる居住環境が整う



複合施設(高田周辺地域)



高田駅前周辺(高田周辺地域)

城下町高田を特徴づける雁木
(高田周辺地域)高田本町商店街
(高田周辺地域)

(2) 地域拠点

《基本的な考え方》

- 日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能が集積し、地区内及び周辺地区の日常生活を支える柿崎区、大潟区、浦川原区、板倉区の中心的エリアを『地域拠点』として位置づけます。
- 日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指します。
- 自然に囲まれ市街地にもアクセスしやすい便利な居住地としての整備・誘導を検討します。

方針

- ・公民館やスーパーなどの日常生活に必要な機能に加え、医院・診療所やホームセンターなど周辺の生活拠点を支える機能の維持・集積を誘導します。
- ・地区内の集落や地区外との交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点の形成を推進します。
- ・生活の利便性向上を図るため、既存施設や空き地などを有効活用した機能的な施設の誘導に努めます。
- ・都市計画区域外に立地する地域拠点においては、地域住民及び関係の施策との連携を図りつつ、都市機能*の維持・集積に向けた方策を検討します。

《拠点のイメージ》

- 日常生活に必要な機能（集会施設、食料品店、子育て施設、郵便局など）に加え、周辺の生活拠点を支える機能（医院・診療所、ホームセンターなど）が集積する



板倉区の中心的エリア
(牧・板倉・清里地域)



大潟区の中心的エリア
(大潟・頸城(西部)地域)



柿崎区の中心的エリア
(柿崎地域)



浦川原区の中心的エリア
(安塚・浦川原・大島地域)